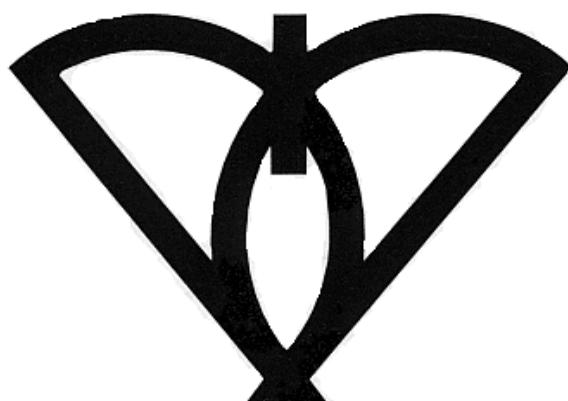


門真市子ども議会

(記録誌)

平成24年8月25日



門 真 市
門真市教育委員会

平成24年門真市子ども議会記録目次

はじめに	1
門真市子ども議会議員名簿	2
1. 開会	
園部市長あいさつ	3
烏谷市議会議長あいさつ	4
2. 子ども議会議長、副議長指名	5
3. 開議	5
4. 子ども議員の質問と市長の答弁	
① 第2班	
まちづくりについて	6
② 第3班	
福祉について	9
③ 第4班	
門真の安心・安全について	13
<休憩>	
④ 第5班	
環境問題について	17
⑤ 第1班	
教育・文化について	19
5. 閉会	
三宅教育長あいさつ	24
議席表	25

はじめに

門真市では、21世紀を担う子どもたちが、模擬議会を通じて自分たちの夢や希望を話し合い、身近に市政や市議会についての仕組みや役割を学ぶとともに、子どもたちに意見を発表できる機会を提供し、市民意識の高揚を図ることを目的として、平成14年度から隔年で「門真市子ども議会」を開催し、今回で第6回目を迎えることとなりました。

子ども議員は13の公立小学校の5・6年生29人が応募し、夏休みの期間中、子どもたちが選んだ5つのテーマについて事前に2回の学習会を開き、さまざまな問題について話し合ったうえで市政への提案や質問をまとめ、平成24年8月25日（土）市議会議場において開催された子ども議会本会議で発表しました。

これは、そのときの記録をまとめたものです。

子ども議会を開催するにあたり、市議会をはじめ、保護者、学校関係者のご理解とご協力に感謝申し上げます。

平成24年10月

門 真 市
門真市教育委員会



第6回門真市子ども議会 平成24年8月25日（土曜日）

門真市子ども議会議員名簿

班とテーマ		氏 名	学 校
議 長		高木 悠至	二島小学校
副 議 長		杉田 美咲	門真みらい小学校
1 班	教育・文化について	高木 悠至	二島小学校
		日高 櫻	四宮小学校
		山田 音得	四宮小学校
		古林 萌々	脇田小学校
		竹内 悠馬	脇田小学校
2 班	まちづくりについて	西川 夏帆	門真小学校
		平野 真穂	門真小学校
		玉村 優人	大和田小学校
		下村 涼菜	大和田小学校
		大窪 凌輔	砂子小学校
		杉田 美咲	門真みらい小学校
3 班	福祉について	三井 美夢	門真みらい小学校
		松木 彩音	四宮小学校
		福永 星羅	北巢本小学校
		白井 香帆	五月田小学校
		近藤 友里名	五月田小学校
		木嶋 皐	砂子小学校
4 班	門真の安心・安全について	市川 真望	大和田小学校
		縫 明都	沖小学校
		古川 優作	速見小学校
		三井 藍花	大和田小学校
		前田 麻里	門真みらい小学校
		澤井 紀乃楓	門真みらい小学校
5 班	環境問題について	山内 良斗	二島小学校
		爲國 沙耶	四宮小学校
		鈴木 千春	上野口小学校
		百武 沙耶香	東小学校
		長森 穂香	東小学校
		小野 世梨華	砂子小学校

1. 開 会

◎ 園部市長あいさつ

おはようございます。

市長の園部 一成でございます。

ただいま、この場から子ども議員の皆さんの凛々しい顔を拝見しますと、強い熱意が伝わってまいり、皆さんのお姿に心強さを感じておるところであります。



今回で6回目を迎える子ども議会ではありますが、今回も市内各小学校の5・6年生、29名の皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございます。

さて、皆さんがおられるこの部屋は、本会議場といいます。ここでは、市民の皆さんが、安全で安心して暮らせるように、いろいろな問題について、話し合い決めごとをする、とても大切な場所であります。

将来の門真市を支えていかれる皆さんが、市議会の運営を直に体験していただくことは、大変有意義で貴重な体験になるものと思っております。

子ども議員の皆さんは、これまで2回の事前学習会に参加し、市役所の仕事や市議会の仕組み、役割などについて学習してこられました。

そして本日、子ども議会議員として、この演壇に立ち、私たちの門真をもっと住みよいまちにするため、一生懸命考えたことをご質問いただくわけであります。

私も皆さんのご質問に精一杯、ご答弁をさせていただき、そして、皆さんからいただいたご意見やご提案を、これからのまちづくりに活かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、本日傍聴席におられる保護者の皆様方におかれましては、何かとご多用のところ、そして、残暑厳しい折にもかかわらず、子ども議会にお越しいただきましたこと、並びに、平素より賜っております、市政各般への温かいご理解ご協力に、厚くお礼申し上げる次第であります。

現在、本市におきましては、公民協働を推進し、市民力と地域力の向上を第一義に

掲げ、自律発展都市へ向けた各種の取り組みを、鋭意、進めておるところであります。

これら施策を総合的に推進し、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思えるまち、すなわち、皆様方から住むなら門真と「選んでいただけるまち」へと転換させてまいる所存であります。

皆様方におかれましては、今後も、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日の子ども議会の開催にあたりまして、多大なご尽力をいただきました保護者の皆様並びに学校長はじめ関係者の皆様方に、心からお礼を申し上げますとともに、どうか、最後までご静聴くださいますようお願い申し上げます。子ども議会開会のご挨拶とさせていただきます。

◎ 鳥谷市議会議長あいさつ

皆さん、おはようございます。

市議会議長の鳥谷信夫でございます。本日は子ども議会開催にあたりまして、門真市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日の子ども議会が、市内の小学校から29人の子ども議員の方々が参加され、また傍聴席には保護者の方々や担当の先生方、そして現職である門真市議会議員の皆さんも傍聴し、盛大に、かつ厳粛に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本日傍聴にお越しくございました保護者の皆様、また、ご指導、ご引率いただきました先生方には、日頃より市政並びに議会活動にご理解とご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。今後もより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日の主役は子ども議員の皆様であります。子ども議員の皆様の声を聞かせて頂きたいと思います。いま、子ども議員の皆さんと言いますので、元気いっぱい右手を挙げて下さい、「子ども議員の皆さん」・・・はい、ありがとうございました。



今皆さんがおられますこの場所は、先ほど市長からもご紹介がありました但議場でございます。私たち市議会議員が市民の方々の代表として、私たちの町を良くしていきたいという思いで、質問そして提案をしていく場所でございます。

本日は、現職の市議会議員に代わりまして皆様子ども議員の方々が門真のまちづくり、安全・安心、福祉、環境問題そして教育・文化について、それぞれの疑問や質問をして頂ける事を楽しみにしております。

結びといたしまして、本日のこの子ども議会が有意義に円滑に進む中で、子ども議員の一人おひとりにとって貴重な体験となります事を念願いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。皆さんどうぞ元気いっぱい頑張ってください。

2. 子ども議会議長・副議長指名

■ 司会

ただいまから、子ども議会の議長、副議長の指名を行います。学習会の時に立候補していただいて決定しておりますとおり、議長に二島小学校 高木悠至さん、副議長に門真みらい小学校 杉田美咲さんを指名いたします。

なお、本日の議事進行は前半を高木議長に、後半を杉田副議長にお願いします。それでは、高木議長よろしく願いいたします。

3. 開 議

■ 高木議長

ただいまから、平成24年門真市子ども議会を開会いたします。

私は、門真市子ども議会の議長に選ばれました二島小学校6年の高木悠至です。

子ども議会に議事を進行していきますので、皆



さんのご協力をよろしくお願いいたします。それでは、これから子ども議員による質問を行います。最初に2班の皆さんを指名いたします。

2班の質問 まちづくりについて

■ 質問者 西川夏帆、平野真穂、玉村優人、下村涼菜、大窪凌輔、杉田美咲 の各議員

私たち2班は、「まちづくり」について話し合いました。

私たちが住んでいる町、門真市には、公園がたくさんあります。公園に来るのは、小学生だけではなくお年寄りや小さい子どももいます。ペットを散歩させてくる人もいます。



公園で遊んでいていつも思うのは何かということ話を話した時、ボール遊びは禁止、水を飲みたくても水道が止められている、ゴミがいつも散乱している、といったような、マイナスの意見が多く出ました。一番問題なのは、狭さでもあるとも考えました。

私たちは、公園で思いっきり走り回りたい、野球やサッカーなどのボール遊びがしたいと思っています。子どもだけではなく、地域のお年寄りが木陰で休憩をしたり、小さい子どもも安心して遊んだりできるような、緑豊かで美しい公園になったらいいな、ということ話を話し合いました。

公園というのは、遊ぶだけでなく、地域の人が集まる憩いの場であるべきだということに気付きました。そのような公園があつてこそ、住みやすい町になるのでしょうか。

広い公園ができれば、こんなものがあつたらいいなと思います。

例えば、暑さをしのぐための屋根や囲いがついた休憩所です。囲いがあれば、冬も暖かく過ごせることができます。お年寄りや小さい子どもを連れた人が気軽に利用することができます。僕の近くの公園では、子どもたちがいたずらをして水が出るのを止められた水飲み場があります。飲むところと、遊ぶところを作ってもらえれば、いたずらはなくなるし、小さい子どもも遊べる噴水広場があれば、大人も子どもも上手に使うようになると思います。

公園に行く時に、迷惑になるのは犬のフンや放置自転車です。公園に行くまでに、安心して移動することができません。歩道が狭いところやガードレールのない道路もまだまだあります。

公園だけでなく、その周りの道路についても、きれいにしてほしいです。道路を歩いていると、フェンスやカベに地図がはってあります。しかし、古くて向きも分かりにくい、そうすると公園の場所も分かりにくいので、誰も見なくなると思います。

公園は、災害の時の避難所にもなっているという話を聞いたことがあります。なので、公園に色をぬったり、記号を使ったりして、小さい子どもやお年寄り、門真に住んでいる外国人の方にも見てすぐわかるような地図を作してほしいです。

公園や道路をきれいにすることは、もうすでにいろいろと考えられていると思いますが、私たちでは分からないことがあるので、2つ質問をしたいと思います。

まず1つ目は、ボール遊びや野球がいつでもできて、地域の人が安心して過ごせる広い公園がつくられる予定はありますか。あるなら、いつ頃できるのか、教えてください。

2つ目は、地震や火事の時の避難場所にもなっている公園に、災害用の設備や避難した時に必要な防災グッズなどが置いてありますか。学校より近い公園に避難した方がいい場合もあるし、素早く安全に、安心して避難できるのではないのでしょうか。

私たちは、小さい子どもやお年寄りまで、みんなが安心して安全に暮らせるように、人々が集まって、体を鍛えたり、心を休めたりすることのできる公園を中心にまちづくりをしていただきたいと考えています。

自分のことだけでなく、まわりの人たちを助け合いながら生活するには、心が豊かでないとできないと思います。私たちだけでなく、みんなが「気持ちよく過ごすことができ、住みやすいまち」になるように、これからもお願いします。

これで、2班の意見と質問を終わります。ありがとうございました。

■ 高木議長

これより理事者の答弁を求めます。園部市長

2班の答弁 まちづくりについて

2班のみなさんの「まちづくり」についてのご質問にお答えをいたします。



みなさんが日頃身近に利用している公園のあり方について、いろいろ関心を持ちながら考えている事を知り、大変うれしく思っております。

みなさんが住んでいる門真市は、山、川、海、あるいは湖などの自然が非常に少ない町であ

ります。また、広さも3キロ、4キロの12平方キロというような小さな町で、分かりやすく言いますと関西国際空港の一期島がございます。この一期島の広さとほぼ似たような町がございます。そこに12万人あるいは13万人という人が生活をしており、そういう町でございます。したがって非常に過密都市であるということがまず前提になって考えて頂きたい、このように思っております。そういう関係から弁天池公園のような大きな公園から、ちびっ子広場や児童遊園と呼ばれる小さな公園まで、全体で155の公園がございます。

その中で、北打越公園と四宮公園の2ヶ所の公園で野球やサッカーなどのボール遊びができますが、多くの公園は十分な広さがなく、ボール遊びは大変危険でありますので禁止ということになっております。

まず、1つ目の質問についてであります。ボール遊びや野球などができる公園は広い土地が必要であり、その土地を確保するにはたくさんのお金がかかります。すぐに実現するのは難しいのですが、将来的に門真市全体のまちづくりの中でバランスよく、広い大きな公園をつくっていく事を検討いたしております。

しかし、現状では公園でのボール遊びというのは確かに他市に比較いたしましても面積的に小さいと思いますけれども、グラウンド、球技ができるグラウンドとして開放いたしております面積は北河内でも有数の広さを誇っており、このように考えております。その点をご理解いただきたいと思います。

次に、2つ目の質問についてであります。現在、門真市内に防災機能を持っております公園は、元町中央公園、幸福町公園、月出中央公園、石原町東広場の4ヶ所でありまして、災害時の消火のための耐震性貯水槽、防災用トイレ、非常時かまどとして利用できる、いわゆるご飯の炊き出しが出来るという防災対応型ベンチなど設置を

しておるところでございます。

今後、中町地区にも防災機能を備えた公園をつくる予定であります。より一層、身近な公園が一時的な避難場所としても十分利用できるように努めてまいりたいと思っております。

市として、地域のみなさんと共に公園のより良い環境づくりに励み、市民の方誰もが親しみを持ち、くつろげる、安心して快適な公園を築いていきたいと考えております。

どうかみなさん、今後とも公園を大切に作る気持ちを一人ひとりがいつまでも持ち続けていただきますようお願いし、2班の質問に対するお答えといたします。

■ 高木議長

これで2班の質問を終わります。

次に、3班の皆さんを指名いたします。

3班の質問 福祉について

■ 質問者 松木彩音、福永星羅、白井香帆、木嶋阜の各議員

(当日急病のため欠席 三井美夢、近藤友里名)

私たち3班は、「福祉」というテーマで話し合いをしました。

「福祉」とは、「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉です。門真市には、多くの方が暮らしていますが、どんな門真市になれば、身体の不自由な方やお年寄りも安心して楽しく暮らすこ



とができるのかについて、私たちの提案したいことや質問したいことを話しますので、聞いてください。

私の学年には、身体の不自由な友達があります。その友達とは、1年生の時から一緒なので、どのようなお手伝いをすれば、良いかは、わかってきています。

門真のまちにも目や耳の不自由な方や身体の不自由な方がおられるので、機会があれば、お手伝いをしたいと考えています。でも、少し心配なこともあります。それは、

「私のお手伝いが迷惑にならないかな？」ということです。相手の方に「手伝ってもらわなくても、自分でしようと思っていたのに・・・。」と、不愉快な思いをさせてしまうのではないかと心配してしまいます。また、どのようにお手伝いすれば、良いかわからない時もあります。

そこで提案です。身体の不自由な方がどのようなことで困っているのか、どのようなお手伝いをして欲しいのか、どのようなお手伝いの仕方が良いのかということ学ぶ機会、身体の不自由な方のことを知る機会があれば良いと思います。誰でもが気軽に参加できるような公開講座があれば良いと思います。そして、その場で実際に体験することができるという色々な場面で生かすことができると思うのですが、どうでしょうか。

次に私の班の人は、1学期に学校でお年寄りと認知症についての授業を受けました。その時に身体を自由に動かすことができなくなる装置をつけて、思い通りに身体を動かすことのできないお年寄りや思いをうまく伝えることのできないお年寄りの気持ちが少しわかりました。また、認知症についても安心できる環境、例えば、なじみの顔や場所、懐かしい物や音に囲まれた場所にいると認知症の人は、落ち着いて、本来のその人らしさや能力を発揮することを学びました。

そこで質問です。これからも門真市の小学校・中学校の子どもを対象にして、お年寄りや認知症についての授業をする予定はありますか？

1学期に受けた授業で「認知症の人を応援します」という意思を示すオレンジのリストバンドをもらいました。大人は、「認知症サポーター」というそうです。

私たちは、子どもの「認知症サポーター」を「プチスマイルサポーター」と名付けました。お年寄りや認知症のことを多くの子どもたちが勉強して、多くの子どもたちにオレンジのリストバンドをつけた「プチスマイルサポーター」になって欲しいと思っています。

以上が私たちの話し合ってきた提案と質問なのですが、他にも、「福祉」に関係することで、「児童館のような子どもが安心して遊ぶことのできる場所について」、「お年寄りや身体の不自由な方が安心して暮らすことのできる施設について」、「お年寄りや身体の不自由な方との交流について」などが話題になりました。門真市が「しあわせ」で「ゆたか」に暮らすことのできるまちになるように、これからもよろしくお願

いたします。ありがとうございました。

■ 高木議長

これより理事者の答弁を求めます。園部市長

3班の答弁 福祉について

3班の福祉についてのうち、「誰でもが気軽に参加できるような公開講座について」の質問にお答えをいたします。

皆さんが、体に障がいのある方について何が困っているのかを知りたい、また何かお手ができればしたい、このように考えていただいていることは、みんなが助け合って一緒に生活をしていくためには、とても大切なことだと思います。



たとえば、目の不自由な方に対して「なにかお手伝いする事はありませんか」との声かけをして、肩や腕を持ってもらって誘導することや、耳の不自由な方には、「ゆっくり大きな声で話かけること」とか、また、車椅子の方に対しては、段差のあるところ、特に横断歩道などで押すということなどのお手伝いがあると思います。

今回、3班の皆さんから提案していただいた、「誰でもが気軽に参加できるような公開講座を開催すること」や「体験する機会を持つこと」は、障がいのある方のことを、もっと身近に感じ、理解する機会として、とてもよいことだと思います。

皆さんが、気軽にお手伝いできるために、障がいについて広く知ってもらえる機会について、障がい者の団体の方とともに考えていきたいと思いますので、今後も、体に障がいのある方のお手伝いをしたいという温かい気持ちをいつまでも持ち続けてください。

次に、門真市の小学校・中学校の子どもを対象にしてお年寄りと認知症についての授業をする予定についてであります。

認知症サポーター養成講座は社会福祉協議会や市内の地域包括支援センターが実施しており、平成24年8月20日現在の本市におけるサポーターの数は990人に上りま

す。

認知症サポーターは認知症について正しく理解し、偏見をもたず、また、認知症の人や家族に対して温かい目で見守り、自分なりにできることで支援を行う応援者の方でございます。

小中学生の皆さんに認知症サポーター養成講座を受講してもらうことにより、認知症への理解を深めていただき、家庭や社会で困っている人がいたら、優しく言葉をかけたり、手を貸してあげることができるようになってもらいたいと考えています。

今年度、初めて小学校において「高齢者にやさしい地域になろう」をテーマとして、認知症サポーター養成講座を開催し、59人の「プチスマイルサポーター」と10人の「認知症サポーター」が誕生いたしました。

この「プチスマイルサポーター」という名称は、講座を受講した五月田小学校6年生の皆さんが、名づけてくれました。これをきっかけにたくさんの小中学生に「プチスマイルサポーター」になっていただきたいと考えております。

2学期には門真みらい小学校でも「プチスマイルサポーター」が誕生する予定となっております。

「オレンジリング」は認知症サポーター養成講座を受講したサポーターの証です。「プチスマイルサポーター」と認知症サポーターを養成し、「オレンジリング」を持っている人を増やすことによりまして、認知症の方や、その家族にとっても安心して暮らせるまちづくりが可能となります。

今後につきましても、認知症に関する正しい理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を小中学校で実施し、「プチスマイルサポーター」を増やしてまいります。

これからも、身体の不自由な方や認知症の方など、いろいろな立場の人について、皆さんの理解を深めて、支え合うまちづくりを進めてまいります。門真市を「しあわせ」で「ゆたか」に暮らすことができるまちにするためにも、お互いを理解し、助け合うという気持ちを持ち続けていただけるようお願いし、3班の皆さんへの質問に対するお答えといたします。

■ 高木議長

これで3班の質問を終わります。

次に、4班の皆さんを指名いたします。

4班の質問 門真の安心・安全について

■ 質問者 市川真望、縫明都、古川優作、三井藍花、前田麻里、澤井紀乃楓 の各議員

私たちは、『門真の安心・安全』について話し合いました。

はじめに、私たちが今、暮らしているこの門真で『危険だなと思うことや場所』について、みんなで意見を出し合いました。その中で出てきた意見は、まず、施設や設備面では「街灯が暗い、あるいは消えかけているところがあって、夜、塾の帰りなどに歩いていて少し怖い」「カーブミラーが壊れていたり、『子供飛出し注意』と書いてあるところにカーブミラーが付いていないので危ない」「歩道の真ん中に電柱が立っていてぶつかりそうで危ないところがある」「ガードレールがへっこんで壊れたままになっているところがある」「道路で段差があるところがあって、自転車に乗っていて危ない」などでした。



次に、人々のマナー面では、「交通ルールを無視して自転車を運転している人がいて危ない」「夜、ライトをつけずに結構なスピードで自転車に乗っている人がいて危ない」「公園で危険な遊びをしている人や、女の子に声をかける不審者がいたり、中学生・高校生が喫煙している姿をよく見かける」「痴漢やひったくりが多い」「コンビニの前でたむろしている中学生・高校生がいて、少し怖い」などの意見が出ました。

それらの対策としては、「街灯を点検し修理する」「街灯を増やす」「カーブミラーが必要な場所を確認して付けていく、あるいは修理していく」「警察のパトロールを増やす」「自動販売機でタバコを売らないようにする」「ひったくり防止カバーをみんな付けるようにする」「大人や先生がもっと注意する」「大人が手本を見せる」などの意見が出ました。

でも、これらの対策を実現するためには、お金がかかることもあるので、すぐに実現できるかどうか、市長さんに3つ質問したいと思います。

まず、1つ目は、街灯やガードレールを修理したり、増やしたりするのはすぐにで

きますか。

2つ目は、市民の方に交通ルール・マナーを教える講習会などはしていますか。

3つ目は、痴漢やひったくりなど、犯罪行為を減らし、この門真をより良い町にするために、門真市としてどんな対策をしていますか。

私たちにも、何かできることはないか考えました。

例えば、クラスの中でルール違反やいけないことをしている人がいたら、お互いに注意し合う。人の注意は素直に聞く。人の嫌がることはしない。困っている人がいたら、相談に乗ってあげたり、助けてあげる。いじめは絶対にしない。ゴミが落ちていたらなるべく拾う、などです。これだけでも、ずいぶん変わってくると思います。

門真市内を流れる古川は、昔は洗濯ができるぐらいきれいな川だったと聞きました。古川を昔のようにきれいな川にしたいです。そして、この門真を生き物がたくさん住めるような、緑豊かなきれいな町にしていきたいです。門真はおもしろくて、いい人が多い町です。だから私は門真が大好きです。みんなが幸せになる、安心して安全な、いい町にしていきたいです。これで4班の意見と質問を終わります。ありがとうございました。

■ 高木議長

これより理事者の答弁を求めます。園部市長

4班の答弁 門真の安心・安全について

4班の「門真の安心・安全について」の質問についてお答えをいたします。

まず、「街灯やガードレールを修理したり増やしたりするのはすぐできますか」という質問についてであります。



門真市では、道路の街灯の明かりが消えていたり、事故などでガードレールが曲がっていたりしているときには、すぐに修理や交換を行っております。皆さんも通学途中や外出した時にそのような危ない状態を発見されましたら、市役所に教えていただ

きたいと思っております。

次に、「街灯やガードレールを増やすこと」については、街灯やガードレールを増やさなければならない場所について、どのような状況で危ないのかを十分に調べ、その中から特に重要な場所を優先して、順番に増やしていくように努力しております。どうしてもお金がかかるため、全部がすぐにできないことがあります。皆さんが安全に道路を通行できるように努力をしてみたいと思います。

続きまして「市民の方に交通ルール・マナーを教える講習会などはしていますか」の質問についてお答えいたします。

皆さんのご意見にもあったとおり、交通ルールを無視して自転車を運転している人がいるため、交通事故が後を絶たないのが現状であります。

そのため、市役所では門真警察署や門真交通安全協会と協力しながら、春と秋の全国交通安全運動中に門真市内の駅前交通安全キャンペーンを行い、交通事故を無くす努力をしております。

また、3、4年生の児童を対象に、毎年10校くらいの小学校で、子ども自転車運転免許証交付講習会を行っております。皆さんも自転車の安全な乗り方をテーマにした講習会に参加したことと思います。そして、車を運転する方には、運転者講習会も毎年10回くらい行っております。

さらに、門真なみはや高校と門真西高校では、生徒会が門真警察署や市役所と協力しながら交通安全運動を各高校で毎年行っております。

門真市としては、これからも市民の方が安心・安全に生活できるようにこのような講習会等を引き続き行ってまいりたいと考えております。

次に、「痴漢やひったくりなど、犯罪行為を減らし、この門真をより良い町にするために、門真市としてどんな対策をしていますか」という質問についてであります。

大阪府全体のひったくり件数は、平成22年、実に35年ぶりに全国ワーストワンを返上しましたが、残念ながら昨年は再び全国ワーストワンを記録するなど、ひったくりをはじめとする街頭犯罪が非常に多い状況にあります。

門真市においても、今年1月から6月までの上半期における街頭犯罪認知件数などは、昨年上半期と比べますと減少傾向にありますが、夏に入って痴漢やひったくりなどの被害が多発しており、まだまだ安心して生活できる状況とは言えません。

このような現状から、門真市では犯罪の起こりやすい暗いところを中心に、現在既に6,700灯ほどの防犯灯を自治会に設置していただいておりますが、その防犯灯の設置や交換にかかる費用の補助や電気使用料金の補助を行っているほか、人を感知して明るさを増す、防犯効果の高いセンサー付防犯灯の配付を自治会に行っており、今年度新たに配付した120基を合わせまして、これまで全部で750基を市内全域に設置をしておるところでございます。

また防犯カメラについても、自転車盗難防止のために駅前の駐輪場を中心に42基を設置してまいりましたが、これに加えて去年は、警察が犯罪防止に有効と認める道路上などを撮影する防犯カメラを設置する自治会に全額補助を行い、新たに40基を各地域に設置していただきました。

また、門真を犯罪のない、よりよい町にするためには、市民一人ひとりの防犯意識を高めることも大変重要でございます。

市としては、門真警察や自治会など地域の皆さんとともに、毎年春と秋には全国地域安全運動として、古川橋と門真市駅前で犯罪防止の協力を呼びかけるキャンペーンを行ったり、年数回、市内数箇所です自転車の前かごに付ける、ひったくり防止カバーの配布キャンペーンを実施し、カバーの配布と取り付けの呼びかけを行ったりしております。

安心・安全なまちをつくることは、門真市民みんなの共通した願いでございます。

今後も市民の皆さんと力を合わせる、いわゆる公民協働の取り組みとして、様々な対策を進めていきたいと考えておりますので、子ども議員の皆さんも、互いを思いやる気持ちを持って、身近なところから、注意しあい、助けあって安心・安全な門真のまちづくりに協力していただきますようお願いし、4班の質問に対するお答えといたします。

■ 高木議長

これで4班の質問を終わります。

この機会に、午前11時まで休憩いたします。

< 休憩 >

■ 杉田副議長

それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

私は、門真みらい小学校6年の杉田美咲です。

高木議長にかわりまして議事を進行してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、質問を続けます。

次に、5班のみなさんを指名いたします。



5班の質問 環境問題について

■ 質問者 山内良斗、為國沙耶、鈴木千春、百武沙耶香、長森穂香、小野世梨華 の各議員

5班は環境問題、とくに、「ごみ問題」というテーマで話し合いをしました。

学校へ行く時や、遊んでいる時、私たちは、道端によくごみが捨てられているのを目にします。たばこの吸い殻や、お菓子の袋、花火など遊んだ後のごみがたくさん捨てられています。川にもごみが捨てられていて、汚れてしまっています。このままでは門真の町がごみであふれてしまいます。



私たちは、4年生の時にごみや環境について学習しました。エコパークでごみの処理のされ方や、リサイクルの方法など、ごみがいろんな形で処理されている事を学びました。私たちも、ごみの分別や再利用、ごみの量を減らすなど、家でも工夫できる事を学びました。

でも、いくら私たちがごみを減らそうとしても、ポイ捨てなどで町のごみは増える一方です。古川を見てもごみがたくさん捨てられていて、生き物も住みづらい環境になっています。門真市に来た人が、「きれいな町だなあ」と思ってもらえるように、ごみが落ちていないきれいな町にしたいと思っています。

そのためには一人ひとりの心がけが大切だと思います。

みんなが意識してごみを分別したり、ごみはごみ箱に捨てるなど、ちょっとした行動がごみのないきれいな町につながると思います。私たち小学生は、地域の清掃活動に参加したり、家でもごみの分別をしたり、ごみはごみ箱に捨てるよう心がけています。

そこで門真の町をきれいにするために、質問したいことがあります。

1つ目はごみのポイ捨て禁止についてです。ごみをポイ捨てする人がいなくなると、町からごみがなくなると思います。そこでごみのポイ捨てを禁止するような決まりが門真市にあればと思うのですが、いかがでしょうか。

2つ目は、町をみんなできれいにする活動です。ボランティア活動や地域の取組でごみ拾いをしているところがあると聞きましたが、門真市の広報や新聞で地域の清掃活動のボランティアを呼びかけることはできないでしょうか。

私たちの町門真を、力を合わせてきれいな町にしたいと思いますのでよろしく願いします。

以上で5班の意見と質問を終わります。ありがとうございました。

■ 杉田副議長

これより理事者の答弁を求めます。園部市長

5班の答弁 環境問題について

5班の環境問題についての「ごみのポイ捨ての決まり」についてお答えいたします。

門真市では、ごみのないきれいな町を作っていくことの思いから、「門真市美しいまちづくり条例」という市の決まりを定めております。

その中に、いま質問をしていただいている、ごみの「ポイ捨て禁止」を定めておりまして、

吸い殻や空き缶などをゴミ箱以外の場所に捨てるのを止めていただくよう呼びかけておるところでございます。

皆さんも、空き缶などのポイ捨てが無くなり、ごみの無いきれいな町になるような



行動について学校等でも話し合ってみて頂きたいと思います。

次に、町をみんなできれいにするため、ボランティアの募集を呼びかけることはできないのでしょうかとの質問であります。

町をみんなできれいにするために、地域の清掃活動をボランティアで行っていただくことは大切なことだと考えております。

このことから門真市では、自治会など、地域の人達に清掃用具の貸出しを行っており、皆さんの協力により清掃活動を行っていただいております。

さらに、年に1度、「キラッと！かどま」と名づけ、広報誌やホームページで清掃活動などを行うボランティアを募集して、門真がきれいな町になるようお手伝いをさせていただきます。

このように門真市では、市民の皆さんと一緒にごみの無いきれいな町を作っていこうと考えておりますので、皆さんも小学校4年生の時に、エコパークで学習をした、ごみ処理やリサイクルなど、ごみの量を減らしたり再利用することなどを併せて、門真がごみの無いきれいな町になるよう、今後も協力をしていただきますようお願いし、5班の質問に対するお答えといたします。

■ 杉田副議長

これで5班の質問を終わります。

次に1班の皆さんを指名いたします。

1班の質問 教育・文化について

■ 質問者 高木悠至、日高櫻、山田音得、古林萌々、竹内悠馬 の各議員

私たちの班は「教育と文化」をテーマに話し合いました。

私たちは毎日学校に通っていますが、学校に行くのが楽しいと班のみんなが言っていました。また、門真にある文化的な建物や歴史的な資料などについて学校で学んだことをもとに話し合いながら、門真をもっともっと文化薫るまちにしたいという思いが強くなってきました。

私たちが、こうした話し合いの中で考えたことや質問したいことをお話ししますので、聞いてください。

まず、学校が今以上に楽しくなるためには、どんなことが大切なのかということについてです。

私たちは、そのためのキーワードは3つあると考えました。それは「交流」「仲間」「授業」です。



まずは「交流」について意見を言わせていただきます。私たちの学校では低学年と高学年が交流して、高学年は低学年の人たちを思いやり、学校のいろいろなことを教えてあげています。そのことで低学年の子どもたちは高学年のお姉さんやお兄さんのようになりたいという憧れの気持ちを強く持っています。

また、隣の小学校の子どもたちと交流して、同じ中学校に行ったときにとっても仲良くやれるようにもしています。幼稚園や保育所と交流して小さな子どもたちに小学校のことを教えてあげるようにもしています。

そして、「仲間」です。こうした交流を行っていく中で、いろいろな仲間ができました。仲間がいるから楽しく過ごせます。そして、気持ちが明るくなります。認め合うことができます。そういった仲間たちと先生とでつくる授業がとても楽しいものになると思います。

私たちの学校では、授業で話し合いをして友達の見解を聞いて「そうかも」とか「ちがうなあ」と感じるがよくあります。そんな授業を通して間との仲が深まっていると思います。また、授業で考えを画用紙やノートにまとめて発表したりしています。

そこで、質問ですが、もっともっと学校が楽しくなるためにはどのようなことが大切だとお考えですか。

次に文化についてです。私たちの門真がもっともっと文化薫るまちになるにはどうすれば良いかを話し合いました。

まずは、図書館がもっとあったらいいなあと思いました。そこに門真の文化についての本があったらいいなとも思いました。

それから、「和」つまり日本的な感じをもっと出していったらいいなとも考えました。「和」の感じを出すには祭りだと思います。私たちの中には小さいころ祭りで「だんじり」を引いたことがとても良い思い出になったと言う人もいました。

そこで、質問します。門真には「だんじり」が何台くらいあるのですか。「だんじり」を見ようと思えばどうすれば良いのですか。教えてください。

それから、門真にも歴史的なものもたくさんあると思うのですが、そういったものをもっともっとアピールしていくことも大切だと思いました。

そこで、もう一つ質問ですが、門真市内にある歴史的なものにはどのようなものがありますか。教えてください。

これからも楽しく学校生活が送れるように私たちもがんばります。私たちが暮らすこの門真がもっともっと教育や文化のすばらしい町になるように、これからもよろしくをお願いします。

■ 杉田副議長

これより理事者の答弁を求めます。園部市長

1 班の答弁 教育・文化について

1 班の教育と文化についてのうち、まず、学校がもっともっと楽しくなるためにはどのようなことが大切かについての質問にお答えをいたします。

皆さん方がおっしゃったように、仲間と交流して豊かにつながることはとても大切だと思います。

そうした仲間と共に毎日の授業を大切にし、意欲を持って勉強して欲しいと思います。



また、正しいと思うことはしっかりとやり遂げる、間違っていると思うことは決してやらないことも大切だと考えます。今、テレビや新聞などで「いじめ」のことが大きく取り上げられています。

皆さんの学校ではどうでしょうか、誰かがいじめられていたら、勇気を出してまわりの友達が「いじめはいけない」とはっきり言ってあげることが非常に大切だと思っております。

自分も友達も大切にしながら皆さんが、そんな気持ちを持って学校生活を送ること

が、学校を楽しくするために大切なことだと思います。

次に、「だんじり」についてであります。

門真市内には、12台の「だんじり」と2台の太鼓台があります。毎年秋にはそれぞれの地域で祭りが開催され、町を練り歩く「だんじり」等の姿が見られます。

また、今年の11月3日の「文化の日」には、門真市の自律発展および東日本大震災被災地の復興を願うとともに、門真市民の絆を深め門真市から日本を元気づけるために、市内各地域の「だんじり」等を集めまして、「門真市地域伝統文化まつり」が初めて開催されることになりました。

このまつりは、門真市道の舟田町南北線の沖小学校の近くから門真市民プラザに向けて「だんじり」等を一齐に引いて練り歩き、市民プラザのグラウンドに集まった「だんじり」等が、鉦や太鼓、舞などの伝統文化を披露する祭典で、「だんじり」のない地域の皆さまにも市内に残る勇ましく元気な地域伝統文化を一気に見ていただくことができます。

次に、門真市内にある歴史的なものについてであります。

京阪古川橋駅北側の幸福町には、1,500年ほど前のお墓の遺跡である「普賢寺古墳」をはじめといたしまして、石器や土器などが地下に埋まっている「西三荘」や「古川」などの遺跡が市内に15ヶ所ございます。

大和田駅の北東部に位置する宮野町にある「伝^{でん}茨田堤^{まんだのつつみ}」は、1,600年ほど昔につくられた日本で最も古い堤防の跡と言い伝えられており、「古事記」や「日本書紀」といった古い歴史の本にも書かれておるところであります。

また、市内南部の三ツ島の三島神社の境内にあります「薫蓋クス」は、木の年齢が1,000年といわれ、高さ約24m、幹の周りが約13mある大阪で一番大きなクスノキでありまして国の天然記念物にもなっております。

建物では、古川橋駅と大和田駅の間位置する御堂町にある「願得寺」が門真で一番古い建物でありまして、今から350年ほど前に建てられたと言われております。

「運転免許試験場」のある一番町には、門真出身で大阪で初めて総理大臣となりました幣原喜重郎氏と教育者として活躍された兄の担^{たいら}氏の生家跡に、兄弟の像を彫った記念碑があります。

このように門真には歴史的なものがたくさんあります。

本市におきましては、門真の歴史文化に直接ふれていただけるように、市役所南側の柳町にあります「歴史資料館」において歴史資料や民俗資料、考古資料等を展示いたしておりますとともに、歴史講座を開催し、大人向けの講座のほか、楽しみながら学習をしていただける小学生向けの講座も開いております。

また、市ホームページにおきまして、市内の名所・史跡・文化財や歴史の紹介などを掲載しておりますほか、文化財ガイドブックなどの資料を作り、門真の自慢できる歴史等を市民の皆さんをはじめ、様々な方々にアピールしております。

今後につきましても、生涯にわたり学習や仲間づくりができ、愛着と誇りに思う文化を育む環境をつくり、いきいきと人が輝く文化薫るまちになるよう努力してまいります。以上で1班の質問に対するお答えといたします。

■ 杉田副議長

以上で質問は、すべて終了いたしました。皆様のご協力を感謝します。



私たち子ども議員29人は、教育・文化について、まちづくりについて、福祉について、安心・安全な町について、環境問題について疑問に思っていたこと、こうなってほしいことなどをいろいろ質問してきました。

そして、市長さんからお話を聞きました。

また、この本会議場で子ども議員になって貴重な体験もしました。

みんなで、今日の経験をいかしこれからも市のことや、町のことに関心をもって、よりよい町をつくるにはどうすればよいかを考えていきたいと思えます。

これをもって、平成24年門真市子ども議会を閉会いたします。

5. 閉 会

◎ 三宅教育長 あいさつ

子ども議員の皆さん、今日は本当にご苦勞様でした。

本日の第6回門真市子ども議会は、各小学校から応募された29人の皆様方、欠席2人で今日は27人の子ども議員として参加して、それぞれが全員発表し、自分たちの力で議会を進行していただきました。



また、傍聴席には、保護者の皆様方をはじめ、関係者の方々のご出席をいただき、厳肅かつ盛大に開催できましたことに対しまして、心より御礼申し上げます。

さて、子ども議員の皆様方は、門真市のこれからの姿を創造し、その実現に向けて、事前に2回にわたって各班で話し合われたり、学ばれたりしました。本日は、そこでまとめられたものを、意見や質問といった形で全員に発表していただくことができました。

それらは全て、門真市の明るい未来のために一生懸命に考えていただいた内容であり、非常に頼もしく思いました。

子ども議員の皆様方がおっしゃったように「安心・安全で幸せで豊かに暮らせるまちづくり」や「環境を大切にすること」また「教育や文化の一層の充実を図ること」などは非常に大切なことだと思います。このひたむきな思いが、門真市を一層希望あふれる町にすることができるものであると確信しております。

そして、皆様方が、この経験を大いに生かして、それぞれの学校で、そして地域でいっそう活躍されることを心より願っております。

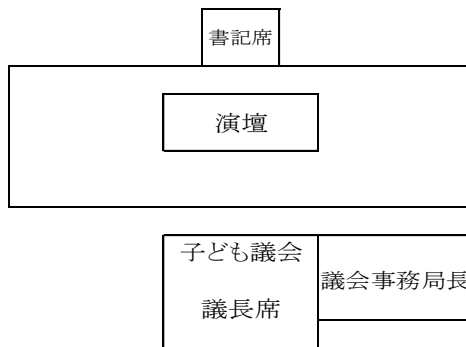
なお、閉会に当たりまして、本日、傍聴にお越しいただいた保護者の皆様方並びに関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。今後とも、門真の子どもたちが心豊かであぐましく育つことができるよう、ご協力を賜りたいと思います。以上をもちまして、「第6回門真市子ども議会」の閉会の挨拶とさせていただきます。

子ども議員の皆様方、本当にご苦勞様でした。

議 席 表

1班			2班			3班			4班			5班							
	脇田小学校 たけうち ゆうま 竹内 悠馬	砂子小学校 おおくぼりょうすけ 大窪 凌輔	門真みらい小学校 すぎた みさき 杉田 美咲	五月田小学校 こんどう ゆりな 近藤 友里名	砂子小学校 きじま さつき 木嶋 皐	門真みらい小学校 まえだ まり 前田 麻里	門真みらい小学校 さわい ののか 澤井 紀乃楓	東小学校 ながもり ほのか 長森 穂香	砂子小学校 おの せりか 小野 世梨華	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
四宮小学校 やまだ とうる 山田 音得	脇田小学校 ふるばやし もも 古林 萌々	大和田小学校 たまむらゆうと 玉村 優人	大和田小学校 しもむらすすな 下村 涼菜	北巢本小学校 ふくながそら 福永 星羅	五月田小学校 しらい かほ 白井 香帆	速見小学校 ふるかわゆうさく 古川 優作	大和田小学校 みつい あいか 三井 藍花	上野口小学校 すすき ちはる 鈴木 千春	東小学校 ひやくたけ さやか 百武 沙耶香	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
二島小学校 たかぎ ゆづ 高木 悠至	四宮小学校 ひだか さくら 日高 櫻	門真小学校 にしかわなつほ 西川 夏帆	門真小学校 ひらの まほ 平野 真徳	門真みらい小学校 みつい みゆ 三井 美夢	四宮小学校 まつき あやね 松木 彩音	大和田小学校 いちかわまなみ 市川 真望	沖小学校 ぬい あきと 縫 明都	二島小学校 やまうち りょうと 山内 良斗	四宮小学校 ためくにさや 爲國 沙耶	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

議長 鳥谷 信夫	副議長 田伏 幹夫	教育長 三宅 奎介	水道事業管理者 辻中 健	教育次長 柏木 廉夫
学校教育部長 藤井 良一	生涯学習部長 柴田 昌彦	水道局長 堀川 哲二	健康福祉部長 下治 正和	環境事業部長 河合 敏和
議会事務局			都市建設部長 中野 勝利	



総務部長 森本 訓史	総合政策部長 稲毛 雅夫	副市長 川本 雅弘	副市長 北村 和仁	市長 園部 一成
行政委員会 政 純子	総合事務局長 名越 節子	市民部長 市原 昌亮	秘書広報課長 南野 晃久	